

トリオヘルメス 弦楽器マスタークラス

1. 日 時 : 2025年 5月29日(木) 13:30 ~ 16:45
2. 場 所 : ミレニアムホール 聴講 学内・学外ともに可
3. 対象学生(必修) : 弦楽器専攻・コース在籍者
4. 講師紹介 : トリオヘルメス 氏 (Trio Hermes)

トリオ・ヘルメス

ジネヴラ・バッセッティ(ヴァイオリン)、フランチェスカ・ジリオ(チェロ)、マリアンナ・プルソーニ(ピアノ)によるトリオ・ヘルメスは、パルマのアッリーゴ・ボーイト音楽院でトリオ・ディ・パルマとピエルパオロ・マウリッツィのもとで学んだ後、ローマのサンタ・チェチーリア国立アカデミーで研鑽を積み、現在はクレモナのヴァルター・シュタウファー・アカデミーにおいてカルテット・ディ・クレモナの室内楽クラスに通っている。

同トリオはウィーン国立音楽大学(MDW)に選ばれ、ハット・バイエルレ、アヴェディス・クユムジャン、パトリック・ユット、ヨハネス・マイスル等の教授陣と共に活動する機会を得た。その後、欧州室内楽アカデミー(ECMA)のゲスト参加グループになった。

また、シエナのキジャーナ音楽院財団により、イタリア外務・国際協力省との協働プロジェクト「世界におけるイタリア音楽の若い才能」の参加者に選ばれた。

トリオ・ヘルメスは、スポレートのドウエ・モンディ音楽祭、サンタ・チェチーリア国立アカデミー、ナポリのアレッサンドロ・スカルラッティ協会などの音楽祭や音楽機関・施設で演奏会を実施した。

同トリオはまた、ローマのアルゼンチン劇場でローマ・フィルハーモニー・アカデミーとの初共演を飾り、青少年音楽ドイツ連合とのコラボレーションによりヴァイカースハイムのタウバー・フィルハーモニーの2024年最初の定期演奏会でデビューした。

ブリリアント・クラシックス・レーベルからトリオ・ヘルメスの初CDがリリースされることや、イタリア放送協会のRaiラジオ3とのコラボレーションで、クイリナーレ宮殿のパオリーナ礼拝堂から生中継されたコンサートで演奏したことも特筆される。

音楽学者兼音楽評論家のグイド・バルビエリとともにベートーヴェンとフランシスコ・デ・ゴヤに焦点をあてた美術と音楽を横断するプロジェクトを考案した。

2025年よりピラストロがトリオ・ヘルメスの活動を支援している。

5. 講義概要 :

《3限》 13:30 ~ 15:00

C.Franck: Violin Sonata in A Major, FWV 8 / M1.M4

Violin: 谷口響子(Kyoko TANIGUCHI)

Piano: 上原琴音(Kotone UEHARA)

《4限》 15:15 ~ 16:45

W.A.Mozart: String Quartet No.14 in G major K.387 / M1.M4

Violin-1: 谷口響子(Kyoko TANIGUCHI)

Violin-2: 中村春花 (Haruka NAKAMURA)

Viola: 谷 祐実 (Yumi TANI)

Violoncello: 久木功大(Kohdai HISAKI)